

平成榛原子供のもり公園概要書



平成榛原子供のもり公園概要書

【名称】	平成榛原子供のもり公園
【位置】	奈良県宇陀市榛原松牧2107番地の4
【公園種別】	総合公園
【都市計画】	市街化調整区域
【全体面積】	約14.6ha

内 訳	
所 有 者	面 積(m ²)
宇陀市	89,474.86
独立行政法人水資源機構	(左岸)29,465.94
	(右岸)27,000.14
国土交通省(河川占用区域)	105.47

1、経 緯

当事業は、平成2年3月に榛原町ふるさとづくり審議会より「森と湖の語らい広場」事業として答申され、それを受け平成3年建設省の「平成記念子供のもり公園」事業に公園構想を提出。全国で15箇所の一つとして指定を受け都市公園(総合公園)として平成4年度より事業に着手し、9年の歳月を経て平成13年4月に開園を向かえた。

平成 1年 3月	榛原町ふるさとづくり審議会設立
平成 2年 3月	榛原町ふるさとづくり審議会より「森と湖の語らい広場」事業が答申される。
平成 3年 6月	建設省の「平成記念子供のもり公園」事業に公園構想を提出。
平成 3年 9月	全国15ヶ所の一つとして指定を受ける。
平成 4年 3月	基本計画策定
平成 5年 1月	都市計画決定
平成 5年 3月	事業認可
平成 7年 3月	用地買収完了
平成 7年 4月	工事着手
平成13年 3月	完了
平成13年 4月 8日	平成榛原子供のもり公園供用開始

2、目的 ・ 背景

平成新時代の幕開けを記念し、21世紀を担っていく子供の健やかな成長に資するため、子供の活動の場を提供すると共に、大人と子供、高齢者と子供の世代間交流の場とする。

3、基本コンセプト

『期待感高まる施設づくりと、身近に感じ十分な利用に対する空間づくり』

- ・ 公園の中央にある湖と、周囲を森で囲まれた自然豊かな立地条件を生かし、自然を大きく壊すことなく自然を十分に利用した公園づくり。
- ・ 多くの魅力が利用するときの意欲をかきたてまた、時間的、季節的、年齢的に幅を生み出し、多くの人々がさまざまな形で利用できる公園。
- ・ 多くの魅力が公園のネットワークを形成すると同時に、いろいろな形態ができるように施設へのアプローチの整備、滞在空間の整備等に配慮し公園の魅力を奥深くまで満喫できるように施設・空間づくりを行う。

4、主要施設

(宇陀川右岸側)

- ・ エントランス広場 公園入り口にふさわしい明るく楽しいデザインの干そう広場。
大型バス 5台 普通自動車 250台の駐車スペースを確保
- ・ 多目的広場 森の大橋を挟んで下流側に少年野球場、上流側に少年サッカー場を備えたスポーツ広場



(宇陀川左岸側)

・森の館

公園の中核施設で来園者のための休憩施設や喫茶コーナー
ウッディランドなどの子供向けコーナー
会議研修室、多目的ホールを備える鉄筋コンクリートづくり
一部鉄骨づくり地上3階地下1階の建築



・森の大橋

公園の中央を流れる宇陀川の兩岸を結ぶ橋長160mの人道橋

・恐竜の国

森と遊びを共存させるために、恐竜をイメージした回廊型の大型遊具。約400mの回廊と2箇所の広場を連続的につなぎ大いに満喫できる遊具広場



・花と小鳥の森

公園内の他のゾーンとは違い、極めて静的で自然の営みを感じることができる空間。森の中を歩く園路、休憩鑑賞スペース
テラス状の花見台等。

・草斜面

芝生広場で自由に遊べる部分と、斜面を利用し子供たちに人気の長いスライダーをベースにまた、隣接するキャンプ施設
利用者の活動の場としてさまざまな利用を目的とした緩斜面

- ・キャンプサイト 一般の家族連れや、小中学校単位による野外活動ゾーン。区画されていないフリーサイトで持込テントを利用して宿泊したり、バーベキューを楽しむことができる。



- ・水系の滝 直径27mの人工池。中央には人工の滝があり、外からは飛び石風の通路を渡ればセンサーの働きで水に濡れず滝の内部へ入ることができる。



- ・原っぱ広場 広々とした平面的な芝生広場。周辺の施設と一体利用でき、イベント等にも利用できる。



- ・噴水広場 公園東側の入り口部。利用者の集合場所にもなるようなシンボル性のある噴水を備えた広場